

過去の受賞者一覧(第1回～第16回)

第1回受賞者(平成20年3月10日 表彰式開催)

団体名	所在地	概要
さいたま新都心バリアフリー まちづくりボランティア	埼玉県さいたま市	さいたま新都心において、まちの案内、車いす補助や視覚障がい者誘導など移動支援、車いす体験などの疑似障がい者体験補助、5ヶ国語(日・英・中・韓・ポルトガル語)ガイドマップ配布、手作りマップ作成、各種イベントの企画・実施などの取組みを行っている。
特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター	三重県鳥羽市	日本初のバリアフリー観光の案内システム(施設の調査、アドバイス、案内、情報提供など)を行う「バリアフリーツアーセンター」を平成14年に開設し、運営している。
豊中市	大阪府豊中市	平成13年から18年の間に、市内13駅のすべて(いずれも1日あたりの平均利用者数5,000人以上)について、旧交通バリアフリー法に基づく基本構想を策定し、駅と周辺地区のバリアフリー化に取り組んでいる。
廿日市市	広島県廿日市市	広島電鉄平良(へら)駅(現在の名称は廿日市市役所前駅)及びその周辺について、交通結節点の機能強化を図りつつ、踏切によって分断されていた鉄道駅とバス停の一体整備などによるバリアフリー化を図っている。
宮崎市	宮崎県宮崎市	「福祉のまちづくり条例」による事前協議制度について広範な規模・用途の建築物を対象とし、また、基準に適合するものへの適合証の発行を積極的に進めるとともに、改修工事に対する助成を行うなどにより、民間建築物のバリアフリー化を強力に進めている。

第2回受賞者(平成21年1月20日 表彰式開催)

団体名	所在地	概要
箱根ロープウェイ株式会社	神奈川県小田原市	早雲山駅～大涌谷駅～姥子駅～桃源台駅のロープウェイ全線にわたる更新工事により、エレベーターやエスカレーターの設置、ゴンドラとホームの段差・隙間の解消、乗車時の一旦停止により、車いすに乗車したままでの乗降を可能にするのと同時に、各駅には授乳やおしめ交換等ができる「赤ちゃん休憩室」を設置しています。また、車いすの無料貸出しを行うほか、駅係員の「サービス介助士2級」の資格取得を推進している。
高山市	岐阜県高山市	平成8年よりバリアフリーに関するモニターツアーを実施し、障がいを持つ方や外国人の方から聴取した意見を道路、公衆トイレのバリアフリー化や各種施策につなげています。また、バリアフリー新法の基準よりも厳しい規定を設けた条例の制定、同条例に基づく民間事業者に対する独自の認定制度などの取組みも行っている。
障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議	大阪府大阪市	独自の取組みとして「バリアフリー・アドバイザー養成講座」を開講し、座学のみではなく、実際に現地に足を運んで課題を発見し、課題解決のための議論を行うなどの講習を実施し、延べ274名が受講・修了しています。また、基本構想に関する委員会への参加、タウンウォッチングへの参画、バリアフリーマップの作成、バリアフリーに関する講座への講師派遣なども行っている。
オキナワ マリオットリゾート & สปา	沖縄県名護市	ホテル全館をバリアフリー新法の誘導基準に適合するようにバリアフリー化し、沖縄県で初めて認定を取得するだけでなく、さらに客室361室のうち36室をユニバーサルルームとして整備しています。また、社員を対象にした接客等の講習会、介助トレーニングの定期的実施、近隣小中学校での盲導犬の子ども向けセミナーなどを行ってきている。

過去の受賞者一覧(第1回～第16回)

第3回受賞者(平成22年1月19日 表彰式開催)

団体名	所在地	概要
特定非営利活動法人手と手 新日本海フェリー株式会社小樽本店	北海道札幌市 北海道小樽市	「特定非営利活動法人 手と手」は、障害者等にとって参加の困難度の高い「さっぽろ雪まつり」において、雪道という条件克服のため車いすに工夫を加えながら、長年に渡って多数の市民ボランティアと協力して、障害者等の雪まつり見学の介助ボランティアを実施している。また、受賞者の「新日本海フェリー 小樽本店」は、バリアフリー化に関する国民の理解を深める「バリアフリー教室」において、講師を派遣する「手と手」と連携して、実際のフェリーやターミナルを活用し実践的な講習を行うとともに、障害者自身に対しても船旅の楽しさを体験してもらうことにより障害者を含むツアーの実施に結びつけるなど、効果的な啓発活動を継続的に実施している。
株式会社楽天野球団	宮城県仙台市	野球場整備(改修)において、地域の障害者団体等との意見交換の中でのアドバイスを的確に設計に反映し、5つのエリアに車いす席を整備、多機能トイレを15箇所新設、エレベーターを4箇所設置したほか、授乳室の整備や託児サービスの実施、総合案内に手話ができるスタッフを配置するなど、制約の多い既存施設の改修でありながら、しっかりとバリアフリー化に取り組み、障害者をはじめ幅広い層へのスポーツ観戦への参加機会の拡大に積極的に取り組んでいる。
東京地下鉄株式会社	東京都台東区	南北線において我が国の地下鉄で初めてホームドアを設置したことに始まり、既存施設である丸ノ内線などにおいて、限られた空間内で、営業しながら可動式ホーム柵やエレベーターを設置するなど、新規、既存の鉄道施設における先導的なバリアフリー化を実現するとともに、副都心線においては、ホームドアは言うに及ばず、ストレッチャー対応エレベーターの設置や複数の多機能トイレの設置など、高次のバリアフリー化を実施している。
高野町 南海電気鉄道株式会社	和歌山県伊都郡 大阪府大阪市	山間地という地形的困難性を有しながらも、互いが協力して、バリアフリー新法下において先駆的にバリアフリー基本構想を作成し、地域内のほか地域外からの利用者の意見もふまえて、ケーブルカー特有の困難性に対応した階段状の乗降場のバリアフリー化や、景観に配慮した新たなエレベーター塔やトイレの設置、ハイブリッドノンステップバスの配備を行うなど、規模の小さい町であっても、世界遺産を抱える観光地として戦略的にバリアフリー化に取り組んでいる。
広島市	広島県広島市	市民球場の新たな整備において、最大300席分の車いす用観戦スペース設置のほか、広島駅に通じる歩道と球場内コンコースを直結する広幅員の歩行者用スロープ、球場を一周する広幅員で平坦なコンコース、緩傾斜の観戦スタンド、1,000席分の難聴者用補聴設備の整備など、高次のバリアフリー化を実現し、障害者をはじめ幅広い層へのスポーツ観戦への参加機会の拡大に積極的に取り組んでいる。
高知県市 高知市 四国旅客鉄道株式会社	高知県高知市 高知県高知市 香川県高松市	互いに協力しながら鉄道の高架化、路面電車の軌道整備と合わせ、大規模な土地区画整理事業を実施して、駅前広場、バスターミナル、駅前駐車場、トイレ等の整備を行い、地域における各種交通モードの結節点である高知駅とその周辺区域において、市街地の抜本的な環境改善に取り組み、総合的なバリアフリー化を実現したこと、また、その整備に当たって、地域の障害者団体等との意見交換を幾度も行い、より有効なバリアフリーのための施設整備に結びつけている。

過去の受賞者一覧(第1回～第16回)

第4回受賞者(平成23年1月18日 表彰式開催)

団体名	所在地	概要
北海道空港株式会社	北海道千歳市	国際線ターミナルビルの新設に当たり、基本設計時から有識者や障害当事者等によるUD検討委員会のほか、多様な障害者が参加した当事者WGやUDの専門家WGを高頻度で開催し、当事者等の意見を設計や工事に反映。手動車いすで利用できる一般便房、弱者者に配慮した設備、エスカレーター逆進入防止設備、6カ国語によるサインの整備など、高度なバリアフリー化を実施している。
東京国際空港ターミナル株式会社 京浜急行電鉄株式会社 東京モノレール株式会社	東京都大田区 東京都港区 東京都港区	東京国際空港国際線ターミナルの新設に当たり、有識者や障害当事者等を中心とする「UD検討委員会」の設立や、委員としての参画、多様な障害者を招き高頻度で開催された当事者ワークショップにおける意見等を設計や工事へ反映するなど、ターミナル全体におけるユニバーサルデザインに配慮を行うほか、鉄道駅ホーム階と到着・出発階を直接結ぶ複数の大型エレベーターの整備、モノレールのホームから出発ロビーまで短く、フラットな動線の確保など、ターミナル施設全体における高度なバリアフリー化を実現している。
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区	誰にでも利用しやすい銀行を目指した「ハートフルプロジェクト」を立ち上げ、有識者によるアドバイスをふまえて、全店統一の改修基準を定め、有人店舗をはじめとする店舗において段差解消のほか自動ドアや車いすでも利用できるトイレ・駐車場、視覚障害者対応ATMなどの整備を全国で広範に実施したほか、障害の種類に応じた対応マニュアル整備等による接客向上など、ハード面・ソフト面から利用しやすい銀行店舗づくりに全社的に取り組んでいる。
音羽山清水寺	京都府京都市	国宝・重要文化財として改修上の制約が多く、また高低差の大きい傾斜地という厳しい条件にある境内において、車いす用の舗装や参拝路の大規模改修によるスロープ整備をはじめとした段差のない境内一周ルートの整備のほか、障害者等用の車によるアクセスの確保や複数箇所の多機能トイレ整備、手で触れる観音様の奉祀などバリアフリー面の配慮を重視し、観光客の多い京都でも最も多くの人を訪れる寺社地において、重要文化財を活かしたバリアフリーに取り組んでいる。
北大阪急行電鉄株式会社 吹田市 豊中市	大阪府豊中市 大阪府吹田市 大阪府豊中市	両側を幹線道路に挟まれた谷部にあり、市境に位置する鉄道駅において、協働で移動等円滑化基本構想を作成し、計画から整備に至るまで関係機関と協議を重ねた上で、駅舎を新設し、エレベーターや国道を立体横断する通路等を整備して周辺住宅地への段差の無いルートを確認し、条件の厳しい中、事業者と地方公共団体が一体となったバリアフリー化を実施している。

第5回受賞者(平成24年1月17日 表彰式開催)

団体名	所在地	概要
特定非営利活動法人 まち研究工房	埼玉県戸田市	埼玉県戸田市のJR埼京線戸田駅周辺の市街地に点在する未利用地などにおいて、ベンチからなる休憩スポット「おやすみ処」を約50箇所設置することにより、高齢者や障害者などの移動困難者の休憩や多世代の交流が行えるスペースとしてネットワーク化するなど、全国的にもユニークな活動を行い、住民主体でまちのバリアフリー化に取り組んでいる。
佐賀県	佐賀県	公共施設やショッピングセンターなどの身障者用駐車場において、障害のない人による不適正利用を防ぐために、利用証交付などからなる「パーキングパーミット制度」を全国に先駆けて実施するとともに、高齢者や障害者などが外出しやすい環境づくりを進めるために、店舗、事業所などの協力により、誰でも利用できるように開放され、バリアフリー化されたトイレを整備していく「みんなのトイレ協力制度」を実施するなど、地域の課題に対応した先導的なユニバーサルデザインのまちづくりに取り組んでいる。
特定非営利活動法人 旅とぴあ北海道	北海道旭川市	障害や年齢などの違いに関わらず、「誰でも、自由に、どこへでも」外出可能なサポートシステムを構築することを目的に、障害者と一緒にバリアフリー交流ツアーを実施するとともに、全国各地の旅先で障害者などがサポートを受けられる体制づくりを目指して、旅の企画や旅に同行し介助などの役割を担うトラベルサポーターを育成するための養成講座を全道各地で開催するなど、全国に先駆けて、観光のバリアフリー化に取り組んでいる。
倉敷市 倉敷市美観地区バリアフリー推進会議	岡山県倉敷市 岡山県倉敷市	文化財保護の観点からハード整備によるバリアフリー化が難しい地区である重要伝統的建造物群保存地区に指定された美観地区内において、住民主体の推進会議と市が連携して、ハードにおけるバリアを“心のバリアフリー”により補完するために「おもてなしマイスター制度」を実施し、さらに地区内の道路整備において、住民主体によるバリアフリー化を実施するなど、市と住民協働のまちのバリアフリー化に取り組んでいる。

過去の受賞者一覧（第1回～第16回）

第6回受賞者（平成25年1月18日 表彰式開催）

団体名	所在地	概要
東京大学高齢社会総合研究機構	東京都文京区	東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県釜石市及び被災者を受け入れた遠野市において、仮設住宅地を一つの「まち」として捉え、地域交流、デイサービス、診療等の機能を有するサポートセンターを含め一体的に整備する「コミュニティケア型仮設住宅地」を提案して実現するなど、先駆的な事業に取り組んでいる。
特定非営利活動法人 秋田バリアフリーネットワーク	秋田県秋田市	秋田県内各地において公共施設等のバリアフリー実態調査を継続的に実施して関係者に改善提案を行うとともに、バリアフリーに関する普及・啓発活動を行う「人にやさしいまちづくりinあきた」を毎年開催するなど、行政との連携のもと、長年にわたり地域に密着したバリアフリー活動に精力的に取り組んでいる。
静岡鉄道株式会社 静岡市	静岡県静岡市 静岡県静岡市	老朽化した商業施設の建替えと鉄道・バスターミナルとの一体的な再開発事業を実施し、また共同受賞者である静岡市は、当該再開発事業の完成に合わせて電線地中化等の周辺整備を行うことにより、乗り継ぎの円滑化や歩行者回遊性が向上し中心市街地の活性化にもつなげるなど、交通事業者と地方公共団体が連携して、全国の地方都市の模範となる一体的なバリアフリー化に取り組んでいる。
ユニバーサルドライバー研修推進実行委員会	東京都千代田区	タクシー乗務員による高齢者、障害者等への接遇や介助を向上するための「ユニバーサルドライバー研修」を企画・実施するなど、タクシー事業者団体が業界を挙げて乗務員教育に力を入れ、全国への波及効果が期待される取組みを実施した。
特定非営利活動法人 海の達人	三重県津市	障害者、健常者が共に海の魅力を味わい楽しめる機会を提供する場として「海のバリアフリーまつり」を毎年開催することや、現場のアイデアや創意工夫を取り入れたマリナーのバリアフリー化を推進するなど、全国的にもユニークな取組みを行い、障害の有無に関わらず、誰もが安全に海を楽しむ環境づくりに取り組んでいる。

第7回受賞者（平成26年1月17日 表彰式開催）

団体名	所在地	概要
一般社団法人 全国子育てタクシー協会	京都市南区	子育て支援団体と連携して、乳幼児を伴った荷物の多い外出時のサポートや子どもだけの送迎でも安心して任せられる「子育てタクシー」をブランドとして構築し、各地域の自治体や子育て支援団体と連携しながら全国的に普及啓蒙を図っている。
札幌狸小路商店街振興組合 札幌市	北海道札幌市 北海道札幌市	「商店街」という各店舗の同意を得ることが困難な地域において、道路横断勾配（道路中央から店舗側への勾配）の緩和、各店舗出入口における段差の解消、滑りにくい路面仕上げの変更、視覚障害者誘導用ブロックの敷設等のバリアフリー化に係る整備を行うとともに、高齢者、障害者等を含む歩行者が最優先との考えのもと、商店街における車両通行のルールを組合が自主的に定め、24時間歩行者専用化を実現した。バリアフリー化に係る整備と交通ルールの制定を一体的に取り組んでいる。
八王子市	東京都八王子市	「子育てしやすいまちナンバーワン」を目指し、親子で安心して外出できる環境を整備するため、民間事業者の協力を得て、授乳や調乳・おむつ換えができるスペースである「赤ちゃん・ふらっと」の設置を支援する事業に取り組んでおり、子どもと一緒に安心して外出ができる環境整備という新しいまちづくり課題に対し、独自の補助制度を創設するなど官民協働の子育てしやすいバリアフリーのまちづくりに取り組んでいる。
阪急電鉄株式会社	大阪府大阪市	要員効率化の厳しい環境下においても、多様な駅利用者のニーズに対応するため、テレビ電話機能付き「駅係員よびだしインターホン」を全駅に設置し、駅係員の対応によるきめ細かい案内サービスの提供を実現しており、コミュニケーションのバリアフリー化を図っている。受賞者のこの取組みは、単に機器や設備整備を行うに留まらない、人による対応を質的に充実させた他の模範となる取組みであり、受賞者がこれまで実施してきた数多くのバリアフリー化の先導的な取組み経験に基づく先進的な取組み。
(株) 昭和観光社 バリアフリー旅行ネットワーク	広島県東広島市 京都府京都市	障害者や要介護高齢者が参加する国内旅行分野において、バリアフリーツアーやヘルパー養成講座実習ツアーを積極的に実施するとともに、旅行会社、宿泊施設等を会員とする「バリアフリー旅行ネットワーク」を設立し、研修会や意見交換会等の実施を通じて、会員等のバリアフリー化の推進に貢献している。

過去の受賞者一覧(第1回～第16回)

第8回受賞者(平成27年1月16日 表彰式開催)

団体名	所在地	概要
イオンモール株式会社	千葉県千葉市	「全てのお客様に安心して安全なお買い物をしていただく」ことを目標に、グループ全体で継続的なバリアフリーのスパイラルアップの取り組みを進めており、シンボルカラーによるエリア分け、身障者用駐車スペースの事前利用登録(不適正利用の排除)などの取組みを行っている。
川崎市	神奈川県川崎市	施設の老朽化や歩行者の移動の円滑化等が課題となっていた川崎駅東口駅前広場について、ユニバーサルデザインに配慮したバリアフリー環境整備をキーワードに再整備を進め、全国初のUDタクシー専用乗り場の整備などを実施した。
姫路市	兵庫県姫路市	城郭であるため坂や階段が多く、また文化財保護の観点から対応が難しい歴史的建築物である国宝「姫路城」において、車椅子による見学を可能とするなど、大規模改修を契機としたバリアフリー整備に取り組んだ。
佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター	佐賀県嬉野市	市や観光協会等と連携・協力し、高齢者や障害者でも温泉旅行を楽しむことができるよう、車椅子でも宿泊・入浴可能なように旅館の客室をバリアフリー改修するとともに、容易に脱着可能なUD浴衣の開発や入浴介助を行うなど、嬉野温泉のハード・ソフト両面でのバリアフリー化を進めている。
特定非営利活動法人 バリアフリーネットワーク会	沖縄県沖縄市	沖縄の観光玄関口である那覇空港において、日本初の空港内観光案内所「しょうがい者・こうれい者観光案内所(沖縄バリアフリーツアーセンター)」を設置し、車椅子の貸出やバリアフリー情報の提供のほか、沖縄独自のバリアフリーガイドラインを作成するなど、障がい者・高齢者等の沖縄旅行をサポートするワンストップ相談窓口として、沖縄の観光バリアフリーを推進している。

第9回受賞者(平成28年1月22日 表彰式開催)

団体名	所在地	概要
鳥信一郎・北海道ユニバーサル上映映画祭実行委員会	北海道函館市	障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に映画を楽しめるよう、字幕や手話通訳等に加え、音を手話で表現するミュージックサイン(本団体独自の取組)を準備した映画祭を市電車内でも継続して開催しており、障害者の外出機会拡大による地域の活性化、映画祭ワークショップに参加する地域の小中高生に対する心のバリアフリーの取組などに貢献している。
鳥取県	鳥取県鳥取市	鳥取県では、障害のある方と共生できる社会を目指し、全国で初めて「鳥取県手話言語条例」を施行(平成25年10月)しており、JR鳥取駅やバスターミナルにおいてタブレットを用いた「遠隔手話通訳サービス」を開始するとともに、交通事業者においても手話の習得に積極的に取り組むなど、主に手話に関する取組を進めている。
香川県難聴児(者)親の会	香川県高松市	聴覚に障害を持つ子供達の自立を促すため、バス会社と連携して路線バスへの磁気ループ導入(四国初)、公共施設や宿泊施設などを対象とした磁気ループ設置施設マップ作成を行うなど、難聴者等にも必要な情報が聞き取りやすい環境の整備に取り組んでいる。

過去の受賞者一覧(第1回～第16回)

第10回受賞者(平成29年1月13日 表彰式開催)

団体名	所在地	概要
全日本空輸株式会社 ANAウイングス株式会社	東京都大田区 東京都港区	ANAグループでは、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック開催を迎えるにあたり、また将来的な高齢化社会を控え、ソフト、ハード両面からバリアフリー化を推進し、すべての利用者が不安・ストレスなく、より快適に飛行機を利用できる環境の整備に努めるべく、利用者の声を参考に、空港や機内における各シーンにおいて、製品開発、導入を進めている。
仙台市	宮城県仙台市	仙台市では、東日本大震災の津波により被害を受けた仙台市東部地域において、津波避難施設を計画的に設置することにより、面的避難エリアの形成を目指している。その計画にあたっては、高齢者や障害者等を「災害時要援護者」と位置づけ、その特性に応じた施設配置やバリアフリー化された施設整備を進めている。
仙台市交通局	宮城県仙台市	仙台市交通局では、平成27年12月に新たに開業した地下鉄東西線の整備に当たり、計画段階から障害当事者の参加のもと意見聴取を行い、設計等に反映させている。その結果、車いすでも介助無しで乗降できるなど、車両と駅舎の双方において最先端のバリアフリー化がなされている。
西日本旅客鉄道株式会社 高槻市	大阪府高槻市	高槻市では、高齢者・障害者等の当事者の参加のもと、バリアフリー基本構想を作成し、さらにスパイラルアップを行ってきた。本計画のもと、駅や周辺施設の面的バリアフリー化が進められ、特にJR高槻駅では新型ホーム柵が導入される等、先駆的な取組みが行われている。一方、基本構想の策定後毎年開催されている継続協議会等を通じて、障害当事者のニーズにきめ細かく対応した事業も併せて進めている。

第11回受賞者(平成30年1月12日 表彰式開催)

団体名	所在地	概要
日本航空株式会社 日本エアコミューター株式会社	東京都品川区 鹿児島県霧島市	日本航空株式会社及び日本エアコミューター株式会社では、誰もが旅、スポーツ、文化を楽しめる社会の実現のため、アクセシビリティ向上に積極的に取り組んでおり、小型機へのストレッチャー搭載や搭乗スロープの導入、食物アレルギー対応ツアーの開発・企画等に取り組んでいる。
札幌市交通局	北海道札幌市	札幌市交通局では、地下鉄全49駅への可動式ホーム柵の設置や歩道から路面電車に直接、乗降することができるサイドリザベーション方式の導入とあわせて、全職員を対象に高齢者や身体の不自由な利用者の介助技術を学ぶ研修を実施する等、ハード・ソフト一体となったバリアフリー化の推進を図っている。
大阪市交通局	大阪府大阪市	大阪市交通局では、ホームドアの整備時に、電車とホーム間の段差や隙間を解消する整備を進めたことで車椅子使用者の単独乗降を可能にし、また、多機能トイレの機能を一般トイレに分散する工夫など、ハード面における駅施設の改善に取り組んでいる。ソフト面では交通局全スタッフによる見守り体制を構築し、一般の利用者にも共助のお願いに努めている。
鳥取県 公益財団法人日本財団 一般社団法人鳥取県ハイヤータクシー協会	鳥取県鳥取市 東京都港区 鳥取県鳥取市	鳥取県、公益財団法人日本財団及び一般社団法人鳥取県ハイヤータクシー協会では、官民一体となり、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、誰もが移動しやすい新たな地域交通モデルの構築を目指し、県全体でユニバーサルデザインタクシーの導入割合を高めるとともに、利用環境の整備、ユニバーサルドライバー研修の実施などのタクシーのバリアフリー化を進めている。
特定非営利活動法人自立支援センターおおい た	大分県大分市	特定非営利活動法人自立支援センターおおいでは、障害者と健常者等誰もが共に生きる共生社会の実現をめざし、小学校等において当事者参画のもと、車椅子でのバスの乗車体験の実施や、バリアフリーツアーセンターの開設等、障害者の住みやすい暮らしに貢献している。

過去の受賞者一覧(第1回～第16回)

第12回受賞者(平成31年1月25日 表彰式開催)

団体名	所在地	概要
京都市	京都府京都市	京都市では、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」を重点施策として掲げ、既存公共交通の再編強化、歩行者優先のまちづくり等の施策を柱として、高齢者や障害のある方をはじめとして、全ての人が安心・安全に生活することができる社会の実現に向けて、駅等のバリアフリー化を推進している。
宮崎空港ビル株式会社 三菱重工交通機器エンジニアリング株式会社	宮崎県宮崎市 広島県三原市	宮崎空港ビル株式会社及び三菱重工交通機器エンジニアリング株式会社では、日本初の小型機対応旅客搭乗橋の共同開発を進めた結果、日本初となる小型機に対応出来る新しいタイプの旅客搭乗橋が完成した。これにより、高齢者や身体の不自由な方の不便を解消し、利便性を高めることに貢献している。

第13回受賞者(令和2年1月23日 表彰式開催)

団体名	所在地	概要
東京空港交通株式会社・三菱ふそうトラック・バス株式会社・三菱ふそうバス製造株式会社	東京都中央区 神奈川県川崎市 富山県富山市	東京空港交通株式会社・三菱ふそうトラック・バス株式会社・三菱ふそうバス製造株式会社では、車椅子のまま乗り込めるエレベーター付バスを開発し、空港連絡バスとして国内で初めて導入、営業運行をおこなっている。
北大阪急行電鉄株式会社	大阪府豊中市	北大阪急行電鉄では、全駅可動式ホーム柵設置を目標として掲げ、2018年3月に全駅への設置を完了させ、駅等のバリアフリー化を推進している。
東急電鉄株式会社	東京都渋谷区	東急電鉄株式会社では、2014年度からホームドア整備を進めており、2020年3月に全駅への設置を完了させ、ハード・ソフト両面でのバリアフリー化を推進している。
スルッとKANSAI協議会	大阪府大阪市	スルッとKANSAI協議会では、第1種身体障害者及び第1種知的障害者向けの特別割引ICカードを発行した。事前に登録することで、利用都度の確認が不要になり、障害のある利用者の外出を支援している。
芸陽バス株式会社	広島県東広島市	芸陽バス株式会社では、来る高齢化社会に向け、交通事業者として認知症の方々へのサポートに積極的に取り組むことを掲げ、行方不明の認知症の方を発見するなど地域のバス事業者として大きく推進している。
成田国際空港株式会社	千葉県成田市	成田国際空港株式会社では、障害当事者、有識者、空港関係者で構成される「成田空港UD推進委員会」を設立し、成田空港UD基本計画と具体的な取組を決定し総合的なバリアフリー化を推進している。

第14回受賞者(令和3年3月15日 表彰式開催)

団体名	所在地	概要
一般社団法人 WheelLog	東京都千代田区	車いすですぐ実際に走行したルートや、ユーザー自身が実際に利用したスポットなど、ユーザー体験に基づいたバリアフリー情報を共有できる「ユーザー投稿型」の新しいバリアフリーマップのプラットフォームを構築し、車いす当事者だけでなく、健常者も参画し、一緒に自分の街や旅行先で見つけたバリアフリー情報を投稿するなど、「車いすでもあきらめない世界」をつくることを目指している。
株式会社 パームロイヤル	沖縄県那覇市	ホテル業として初めてLGBTフレンドリーを宣言し、同性パートナー向けハネムーン造成、LGBTに配慮したバリアフリートイレの設置、LGBTIに関する社内研修等を実施し、LGBTの方を採用する際に、より働きやすい環境整備の配慮を行っている。また、視覚障害者、聴覚障害者等を対象とした夜間防災訓練を全国で初めて実施し、障害者のある方にも安心して滞在できる観光地形成に寄与した。

第15回受賞者(令和4年3月17日 表彰式開催)

団体名	所在地	概要
(株)フジドリームエアラインズ (株)エスエーエス(静岡県) (株)エアスペースプロダクション(名古屋市)	静岡県静岡市 静岡県牧之原市 愛知県名古屋市	体の不自由な方だけでなくお年寄りや小さなお子様連れの不安を解消するため、航空機を利用する際に、介助者とも同乗できるエレベーター付きのステップ車を開発。
とまり木休憩所・おでかけベンチ協働プロジェクト 実行委員会 (京都市)	京都府京都市	ベンチの設置可能な歩道や、私道や里道も多い住宅系市街地に住む、近隣に親族のいない独居もしくは夫婦のみ世帯を中心に、後期高齢者が、道路沿私有地に設置したベンチで歩き継いで、徒歩で、自身の都合のよい時に自由に外出、買物、通院、散歩できるよう支援し、高齢者が「歩いて暮らせるまち」を実現。
全日本空輸(株) 日本航空(株)	東京都港区 東京都品川区	障がい者の他、慢性疾患のある方や高齢者等の新型コロナウイルス感染拡大防止及び接客への戸惑いや不安を軽減し、安全・安心な空の旅を提供することを目的に、障がい者等の配慮を要するお客様に航空機を利用する際の具体的な接遇方法を示したガイドラインをANA・JAL共同で策定。

過去の受賞者一覧(第1回～第16回)

第16回受賞者(令和5年3月16日 表彰式開催)

団体名	所在地	概要
伊丹市立病院	兵庫県姫路市	兵庫県内で初めて手話通訳士を院内に配置したほか、聴覚障害をお持ちの方との意思疎通を容易にする指差しカードを導入し、これが市内の各施設やバス事業者などの施策に取り入れられるなど、医療現場内外における聴覚障害者とのコミュニケーションの円滑化に寄与。また、約40年間活動を継続している病院内の手話サークル「たんぼぼ」による地域を巻き込んだ手話学習会や、手話通訳を介した講演会を開催するなど、地域におけるバリアのないまちづくりに寄与する取組みを実施
徳島県立近代美術館	徳島県徳島市	障害の有無や年齢に関係なく、誰もが安心して自分らしく鑑賞を楽しむことができるユニバーサルミュージアムを目指し、視覚・聴覚障害をお持ちの方がナビゲーターを務める鑑賞会を開催するなど、インクルーシブな取組みを実施。

第17回受賞者(令和6年3月26日 表彰式開催)

団体名	所在地	概要
姫路市	兵庫県伊丹市	姫路市内の鉄道駅を効率的に整備するため、全31駅の整備状況を見直し、整備すべき内容や改善すべき優先項目を盛り込んだ「鉄道駅周辺整備プログラム」を策定し、鉄道事業者をはじめ地域住民や地元企業と連携することにより、鉄道駅のバリアフリー化のみならず、駅周辺の利便性向上と持続可能なまちづくりにも取り組んだ。
(株)商船三井 (株)商船三井さんふらわあ	東京都港区 大阪府大阪市	○令和5年に就航した新造船「さんふらわあくれない」、「さんふらわあむらさき」を建造するにあたり、利用者アンケート結果や障害当事者の乗船体験時等にいただいた意見を反映し、車いす利用者がターミナルの発券カウンターに立ち寄ることなく乗船を可能としたり、座ったまま扉の開閉が可能となるQRコード乗船システムを採用。 ○大阪～別府航路の新造船就航に伴い、別府観光港にユニバーサルデザイン化されたターミナルを新設。ターミナル整備にあたっては、別府市内の障害当事者団体等と協働し、行政(国・県・市)も参画した「別府港UDターミナル推進協議会」を設置。障害当事者が利用しやすいドライブスルー型の駐車場や補助犬用トイレ等を整備。

《参考》

(第1回～第17回 受賞68件 受賞団体数92団体)

(所在地別受賞団体)

- ・北海道 8
- ・秋田県 1
- ・宮城県 3
- ・埼玉県 2
- ・千葉県 2
- ・東京都 17
- ・神奈川県 3
- ・富山県 1
- ・静岡県 4
- ・愛知県 1
- ・和歌山県 1
- ・三重県 2
- ・岐阜県 1
- ・大阪府 12

- ・京都府 4
- ・兵庫県 3
- ・岡山県 2
- ・広島県 5
- ・鳥取県 3
- ・徳島県 1
- ・香川県 2
- ・高知県 2
- ・佐賀県 2
- ・大分県 1
- ・宮崎県 2
- ・鹿児島県 1
- ・沖縄県 3

(団体別受賞団体)

- ・地方自治体 28
- ・NPO法人・ボランティア団体等 22
- ・法人 42